「日々の理科」(第 3511 号) 2024, -3, 18 「青春 1 8 切符・日帰り大旅行(1)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「青春 18 きっぷ」という JR グループの企画乗車券があります。毎年数回、期間や有効期限を限定して発売され、実際に購入して使われた方も多いと思います。私も過去に何度も利用しましたが、コロナ禍の後、左脚の神経痛もあって、全く買っていませんでした。しかしこの春、一念発起して1枚購入「してしまいました」!! 今回はその「日帰り大旅行」を連載します。単なる「乗り鉄の記録」・・・なのですが、せっかくなので、地形や地質、それに「鉄道考古学」的な考察も加えてまとめてみたいと思います。

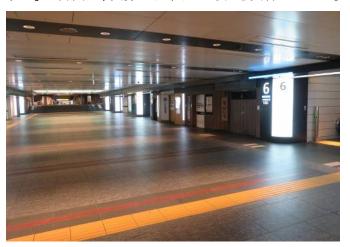


「青春 18 きっぷ」は、JR各社が独自に発売している企画乗車券とはちがい、北海道から九州までのJR全線に乗車できるのが特徴です。ただしいくつかのルールがあります。主なルールは以下の通りです。

- (1)普通列車(快速列車も含む)の普通車自由席しか乗れない。ただし、普通列車の指定席券やグリーン券を購入すれば利用できる。
- (2) 特急や新幹線を利用する場合は、特急券だけでなく、利用区間の乗車券も購入しなければ乗れない。
- (3) 一人で使う場合は、5日間使える。有効期間(4 月10日まで)なら連続した5日でなくても良い。
- (4)複数人数でも利用可能。たとえば3人で1日+ 2人で1日=5人分と計算する。ただし切符は1枚なので、「同一行程の旅行」に限る。
- (5)日付をまたいで運行する列車の場合、その列車 が最初に停車する駅まで有効。ただし、東京や大阪の 都市圏では、終電まで有効。
- (6) JRバスは利用できない。ただし、一部の第三 セクターや、特急しか運行していないJR区間(たと えば北海道の石勝線)は、条件付きで利用できる。

(7)「青春18きっぷ」とは名乗っているが、利用 に年齢制限はない。つまりもうすぐ還暦の私でも 「堂々と」利用できる。

要は、1枚で1人1日、普通列車に有効な乗車券ということで、「乗れば乗るほどお得!」という切符なのです。私はこうなったら「丸一日、徹底的に列車に乗って、遠くまで行って、日帰りで東京に戻ってこよう!」と計画し、実際に日曜日にそれを実行しました。



旅行のスタートは東京駅です。写真は丸の内北口から入った通路ですが、誰もいません。この時刻に「東京駅に来る手段」がないからです。こんなにガランとした東京駅は初めて見ました。東海道線の東京駅始発は5:20の沼津行きなのですが、京浜東北線の4:41の始発に乗ると、もう一本早い品川始発の小田原行に乗れます。この時刻に東京駅に到着するのは大変なのですが、裏技を使って成功しました。(裏技はメールでお問い合わせください)



4:41の京浜東北線が、東京駅の最初の電車と思っていましたが、実はこの2分前の4:39に中央線・高尾行があります。終電は0:46の山手線なので、「終電~初電」まで3時間53分しかありません。準備・片付けも含めれば、ほぼ24時間営業と言えるでしょう。青春18きっぷは自動改札を通れません。しかし4:30にはすでに有人改札も開いていて、きっぷに日付印を押し「お気を付けて行ってらっしゃいませ!」と声をかけてくれました。有難いことです。